

この博物館にはいろいろなものがやってくる。
大切にしておいたもの。偶然残されたもの。
誰かが亡くなった時、家の整理をする時に
捨てられる寸前だったものも。
その中には戦争にまつわる資料もある。

今まで手付かずだったその資料の箱と一緒に開けることから始めてみた。
ドキドキしながら箱を開けてみると、
そこには小学生の慰問文や女学生の日記やスクラップブック。
戦場へ持って行った本、教科書に雑誌、当時の新聞…。
歴史の教科書やドラマではない。確かにそこに生きていた人がいる。
実物の力に圧倒される。
そこからそれぞれが自由研究を始めることになった。

考えてみれば、今を生きるすべての〈私たち〉はみんな戦争体験者の子孫。
祖父や祖母、曾祖父や曾祖母…彼らがあの時代を生き抜いたから、
今〈私たち〉がここにいる。その事実にとっと手を伸ばす。
「小さな物語」のカケラを集め、探索し、読み直す。
そうやって、いつのまにか戦争が〈私〉の中に根をおろす。

あなたの「小さな物語」も聞かせてください。

※ この参加型の展示は、会期中どんどん育っていきます。
「戦争と〈私〉をつなぐ物語を探す」プロジェクト特設サイト
<https://war-watashi.showanokurashi.com>



昭和のくらし博物館のご案内

所在地

〒146-0084
東京都大田区南久が原2-26-19
東急池上線「久が原」、または、東急多摩川線
「下丸子」より徒歩約8分

電話

03-3750-1808

開館日時

金・土・日曜日・祝日 10:00～17:00
休館日 月～木曜日
2026年度の臨時休館日は9月4日（金）～9月
10日（木）、12月28日（月）～1月7日（木）

入館料（維持協力費）

本館：大人 1000円／小学生～高校生 500
円／未就学児 無料／障がい者手帳をお持ち
の方と同伴の方 5割引

別館入館料・年間パスポート・団体見学など詳
細は昭和のくらし博物館公式サイトをご覧ください。
<https://www.showanokurashi.com>

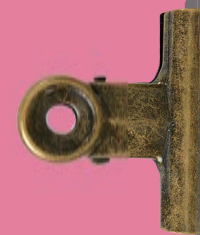


since 2025
2026

「戦争と〈私〉をつなぐ物語を探す」
プロジェクト

昭和のくらし博物館

戦争と「私」をつなぐ物語を探す



戦争と〈私〉をつなぐ自由研究

博物館に眠っていた軍事郵便や慰問文などの資料の箱を開けることから始まったこのプロジェクト。さまざまな立場の人が、そこから〈私〉に響くテーマを追う自由研究を始めました。その経過はプロジェクト特設サイトで報告。年に一度、その成果を、昭和のくらし博物館でも展示・発表しています。まだ一歩を踏み出したばかりですが、この活動を紹介すると共に、来館者を巻き込んでさらに輪を広げていきます。

「戦時中の手記」を読む

博物館に寄贈された「日記」や「手記」を紹介。そこから見える日常の中の戦争と戦争の中の日常。その境目のあいまいさを考えます。

戦争と〈私〉物語のカケラ

2025年の展示に触発されて集まったたくさんのカケラ。その声の重なりに向こうに見える風景こそが〈私たち〉と戦争をつなぐ物語。今年もみなさんの声を集めます。

「戦争と〈私〉をつなぐ物語を探す」プロジェクト

社会の不安と戦争の気配がますます深まる今、私たちにいったい何ができるのだろうか？

過去の、そして現在進行形の戦争の悲惨さを知るだけではなく、かつて戦争へ至る道の途上で〈私たち〉が、どのようにくらし、何を考え、何をしたのか（あるいはしなかったのか）を知りたい。それぞれの方法で〈私〉と関わりのある場所から始めてみよう。今ここで起きていることをもつとよく知り、別の道を歩むためにも。

この参加型のプロジェクトは「昭和のくらし博物館」が2025年にスタートさせました。試行錯誤しながら共に育てていきます。

戦時中の「標語」を貼ってみる

かつて人々を戦争へと煽った「標語」の数々。そのレプリカを作って、実際に貼ってみる。そこから見えてくるのは…私たちの今？

ポケットに憲法を！

権力の暴走から私たちを守る「憲法」。まずは、いつも身近に「憲法」を感じることから始めよう。くらしの折々に「憲法」を読んでみよう。「憲法手帳」を頒布します。

触れる〈戦争〉の時間

千人針や軍事郵便、子どもたちの書いた慰問文、当時の新聞など、戦時中のモノを手にとって触れる時間を設けます。そこには、人々が確かに生きていた日常の匂いや手触りがあります。

（開催は随時、お問い合わせください）

戦争と〈私〉の本棚

〈私〉の心に響いたこの本をみんなにも読んでもらいたい！読んだ人のコメントをつけたオススメ本を集めた本棚です。すべてが私物ですが、手に取って読んでいただけます。

